周辺地図



- 京急横須賀中央駅から 徒歩10分
- JR横須賀駅から バス5分
  大滝町バス停下車 徒歩5分

学校説明会［要web予約］（上履きの持参をお願いします）

9月10日（土）10:00～11:30
11月12日（土） 9:00～12:00 ＊入試問題体験会を並行開催
12月10日（土）10:00～11:30
1月14日（土） 9:00～12:00 ＊入試問題体験会を並行開催
※ご希望の方には、施設をご案内します

水曜ミニ説明会［要web予約］

※実施日時につきましてはHPでご確認ください

入試問題体験会［要web予約］

11月12日（土） 9:00～12:00
1月14日（土） 9:00～12:00
※2科目型（国・算）、4科目型（国・算・理・社）、適性検査型（Ⅰ・Ⅱ）のいずれかを選択してください

楠木祭（文化祭）

9月23日（金・祝） 9:00～15:00

オープンスクール［要web予約］

8月11日（木・祝）10:00～13:00

［6年一貫教育］
横須賀学院中学高等学校
〒238-8511 横須賀市稲岡町82番地
Tel.046-822-3218 Fax.046-828-3668
info.jh@yokosukagakuin.ac.jp https://www.yokosukagakuin.ac.jp/

横須賀学院中学高等学校

— 6年一貫教育 —

2023

YOKOSUKA GAKUIN

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



次の時代に向かって、
横須賀学院は更に飛躍していきます。

横須賀は、ペリーが来航した開国の地。そして、海軍の町として発展した歴史を持ちます。戦後、青山学院横須賀分校を受け継いで、1950年に横須賀学院が誕生しました。祖国の再建と復興にはキリスト教による人間形成が不可欠との使命感が、あらゆる困難を乗り越えたのです。横須賀学院は、創立以来キリスト教に基づく教育を実践し、毎日の礼拝・聖書科の授業・キリスト教行事・奉仕活動を大切にしてきました。世界に貢献できる知恵と実力と豊かな心を持った若者の育成に努めています。2009年に締結された青山学院との教育連携は14年目を迎え、着実に進展しています。

［建学の精神］
敬神・愛人

横須賀学院はキリスト教の香りとあたたかな雰囲気の中で、
神を敬い自分を愛するように他者を愛する心を育てます。

ミッションステートメント

横須賀学院は　キリスト教の信仰に基づく教育によって
神の前に誠実に生き　真理を追い求め
愛と奉仕の精神をもって　社会に　世界に対して
自らの使命を果たす　人間の育成を目指します

01 | 建学の精神
| ミッションステートメント
02 | 院長メッセージ
| 校長メッセージ
03 | キリスト教教育
05 | 一貫教育の特色
07 | 6年間の学びのステップ
09 | キリスト教を土台としたグローバル教育
11 | 英語4技能の向上
12 | 体験型プログラム
13 | 思考力・判断力・表現力を身につける
15 | 学力の養成
17 | キャリア教育
19 | 青山学院との連携
20 | 学習指導・進路指導プログラム
| 進路状況データ
21 | 学校生活
22 | 制服
23 | 学校行事
25 | 部活動・生徒会・委員会活動
27 | 施設・環境
29 | 学校沿革
| DATA・生徒在籍数
| DATA・併設小学校からの進学者数
| DATA・在校生の居住地域

Message

■ 院長メッセージ

アフターコロナの学校教育

全国一斉休校に伴う家庭学習期間によって、オンライン教育は格段に進化しました。端末やアプリケーションを介して学校と家庭を繋ぐ教育方法は、学校教育のあり方を根本から見直す良い機会となりました。技術的な課題は多々ありますが、新時代に不可欠なツールとして今後も積極的に活用してゆきたいと思います。
その反面、ICT（情報通信技術）による教育の限界が見えてきたことも事実です。情報端末は、視覚と聴覚に限定されたコミュニケーション手段ですから、教師と生徒が「場」を共有することによって複合的に醸し出す空気感を伴った相互教育力は再現されません。
横須賀学院は創立以来、聖書の人間観に基づいてSpirit・Mind・Bodyをバランスよく育む「全人教育」を基本としています。技術の進歩と共に世界は大きく変貌することでしょう。しかし、どのように時代や世界が変化しても、人間固有の価値が変わることはありません。
私たち横須賀学院は「敬神・愛人」を基盤として、未来を切り拓くスキルを備え「世界の隣人と共に生きる」人間力を育みます。

院長 二瓶 淨幸

■ 校長メッセージ

隣人を愛し、社会に貢献する人を育む

終戦直後の1950年に創設された横須賀学院は、2020年、創立70周年を迎えました。建学の精神である「敬神・愛人」のもと、キリスト教に基づく人格教育に邁進してきました。毎日の礼拝・聖書の授業・キリスト教行事を通して、「如何に生きるべきか」を一人ひとりに問いかけ続けてきました。誰にでも与えられたタラント（賜物・資質・天分）を遺憾なく発揮し、失敗を恐れず、前向きに歩むよう常に呼びかけています。中学・高校時代は失敗体験からも多くのことを学び、それを成長の糧にできるかけがえのない時です。自分の可能性を信じ、お互いに支え合い、励まし合える教育共同体でありたいと願っています。今、社会は目まぐるしく移り変わっています。その変化を敏感に捉え、的確、迅速に対応する判断と勇気が必要です。急速に進むグローバル化、AIの進化、少子高齢社会等々、変革する社会に対応するために、日本の学校教育の改革が求められています。本校でもキャリア教育、グローバル教育、ICT教育など、より良い学習環境を構築するための具体的、魅力的なプログラムを手掛け、実践しています。与えられたミッション（使命・天命）を自覚しつつ、自分を愛するように、隣人を愛してほしいと願っています。

校長 川名 稔





Christianity

キリスト教教育

横須賀学院は、一人ひとりが神から愛されるかけがえのない存在であるというキリスト教の人間観に立って教育を行っています。その中で、互いを大切にしあい、他者に奉仕する生き方を日々の礼拝やキリスト教行事を通して学びます。







毎朝の礼拝・聖書の授業・宗教行事

横須賀学院の一日は毎朝の礼拝から始まります。美しい讃美歌がチャペルに響き、聖書に基づく愛の話が語られます。また、毎週1時間、聖書の授業があります。聖書を学ぶだけでなく、生き方についても考える時間です。四季折々の宗教行事は、私たちの情操を豊かに育んでくれます。



毎月　誕生礼拝

誕生月の生徒を祝福する礼拝を行います。聖歌隊やハンドベルの奉仕などでお祝いし、クラスメート全員のメッセージが書かれたカードが渡されます。

6月　花の日礼拝

アメリカの教会が子どものための礼拝を始めたことが起源です。横須賀学院では6月中旬に全校生徒が花の苗をお捧げし、プランターに移しチャペルの周囲を彩ります。

12月　クリスマスページェント

イエスさまのご降誕をお祝いする礼拝をページェント（降誕劇）として、小・中学校全校でお捧げします。ナレーターや舞台スタッフは一貫生の高校3年生が担い、マリアとヨセフ、学者やヘロデは中学生から選ばれます。

6月　キリスト教教育週間

6月初旬の1週間、特別礼拝、隣人愛献金、教会出席奨励を行います。地域の教会を紹介し、教会の日曜学校に出席することを勧めます。

11月　収穫感謝礼拝

ピューリタンの人々が、感謝の礼拝を捧げたことが起源です。全校生徒が果物をお捧げし、その後、チャペル委員の生徒が果物を携えて近隣の教会や施設を訪問します。

12月　メサイア公演

プロのオーケストラの演奏、高校聖歌隊とbless（OB・OGの聖歌隊）の合唱で行われるヘンデルのオラトリオ（聖譚曲、せいたんきょく）です。横須賀芸術劇場で公演しています。

生徒のキリスト教活動

日々の学校生活の中で、キリスト教精神を具体的にあらわす活動として、チャペル委員、キリスト教青年会、聖歌隊、ハンドベル・クワイアがあります。学内外の様々な場面で、自らを活かす奉仕活動を、喜びをもって行っています。

チャペル委員とキリスト教青年会

チャペル委員会は委員会活動の一つです。ホームルームや生徒礼拝などで奉仕をしています。キリスト教青年会は、キリスト教についての学びとともに、学内外での奉仕活動を大切にしています。チャペル委員とキリスト教青年会が、中学校のキリスト教行事の中心を担っています。





聖歌隊

聖歌隊は学校直属の組織として、誕生礼拝、ページェント、学校説明会などで活躍しています。讃美奉仕をする聖歌隊員は、自信と誇りを持って美しいハーモニーを創り上げます。



ハンドベル・クワイア

ハンドベル・クワイアはクラブ活動の一つです。4オクターブのベルで演奏する讃美歌は、澄んだ音色で聴く人を喜ばせています。クリスマスの時期には学内外で演奏奉仕をしています。



キリスト教青年会の活動

キリスト教青年会は生徒主体の組織で、生徒礼拝の司会進行やスピーチ、赤い羽根募金、校外でのボランティア活動などを行っています。参加はすべて任意ですが、穏やかな雰囲気のなか、楽しく活動しています。学校の建学の精神である『敬神・愛人』に基づいて様々な活動に取り組むことで、思いやりの心が育まれていくように感じます。



一貫教育の特色

中学・高等学校の6年間は、基礎的な学習習慣を確立する最初の2年間、キャリア教育を通じて自分自身を見つめる中間の2年間、そして進路実現に向かって学びを深める最後の2年間に分けることができます。自律した学習によって自らの生き方をつかみます。

教育の4本柱

世界の隣人と共に生きるために必要な資質を養うグローバル教育。きめ細やかな手厚い学習・進路指導で個々の希望進路を拓く進学教育。神さまから託されている自分のタラントン（賜物）は何かを問い続けるキャリア教育。年間を通じた多彩な学校行事・体験学習で「共に生きる」を実現します。

グローバル教育 / 進学教育 / キャリア教育 / 学校行事

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
グローバル教育	スプリング・イングリッシュデイズ		ターム留学 ※希望者		海外での体験学習と現地校交流	
	サマー・ウインターイングリッシュデイズ ※希望者				オーストラリア（ゴールドコースト）ホームステイプログラム ※希望者	
			シドニー・ホームステイ ※希望者			
	セブ・インテンシブ・イングリッシュ ・キャンプ ※希望者					
		ハワイ・プログラム ※希望者				
			エンパワーメントプログラム・青学国際交流プログラム ※希望者			
	アジア学院Work Camp			アジア学院Work Camp		
	オンライン英会話					
	インターナショナルスクールでのボランティア（春期・夏期・帰国生等向け英語力保持プログラム）			インターナショナルスクールでのボランティア（春期・夏期・帰国生等向け英語力保持プログラム）		
	英検取得目標 中1：4～5級 中2：3～4級 中3：3～準2級 高1：準2～2級 高2・高3：2級			※英検のほか、希望者を対象にTOEIC Bridge等の受検サポートも実施しています（高2では、全員がGTECを受検）		
進学教育	中学学習室（A.L.T.、定期試験サポート、英検・漢検サポート等）			高校学習室・チューターズルーム		
	B.L.T.（ベーシックラーニングタイム）					
		土曜特別講座		一貫特別講座	入試演習	
	オンライン学習プログラム			オンライン学習プログラム		
				リベラルアーツプログラム	小論文講座	教養講座
	中学夏期講習			高校夏期講習		
進路指導	ベネッセ学力推移調査（各学期）			ベネッセ スタディサポート（年2回）・進研総合学力テスト（年2回）		
	個人面談（各学期）・三者面談	個人面談（各学期）・三者面談	個人面談（各学期）・三者面談	個人面談（各学期）・三者面談	個人面談（各学期）・三者面談	個人面談（各学期）・三者面談
				進路別ガイダンス・進路シンポジウム・進学講演会		
	学院セミナリオ（大学模擬授業）			学院セミナリオ（大学模擬授業）		
	学院手帳を利用しての学習時間管理と目標設定			大学見学レポート	キリスト教大学進学説明会	先輩の合格体験に学ぶ会
キャリア教育				リベラルアーツプログラム・新書レポート		
	読書指導・ビブリオバトル・英国プレゼンテスト・新書レポート			高大連携プログラム		
			職業体験プログラム	青山学院大学 高大連携授業（学問入門講座）		
学校行事	学年・全校行事 全校縦割り遠足・体育祭・文化祭・合唱コンクール・マラソン大会			学年・全校行事 遠足・体育祭・文化祭・ダンス大会（高２女子）・球技大会		
	体験学習 新入生オリエンテーション / 小網代の森総合学習 → 木更津自然教室 → 沖縄自然教室 → 海外での体験学習					
	礼拝・キリスト教行事 イースター礼拝・ペンテコステ礼拝・創立記念特別礼拝・花の日礼拝・収穫感謝礼拝・クリス マス礼拝・クリスマスページェント・メサイア公演					

社会に・世界に貢献できる人材



Learning Process

6年間の学びのステップ

中高一貫生は、6年間を見据え、検定外教科書なども用いて授業を行っています。また、必要に応じて習熟度別授業を展開し、きめ細かく学習指導をしています。そのために高校からの入学生とは別クラスで学んでいきます。学力は、授業で学んだことを、多くの問題演習を通して自学自習する習慣をつけることで身につきます。一貫コースでは放課後の学習サポートや土曜日の講座を充実させて家庭学習を促します。

■ 6年間のクラス編成

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
中高一貫コース（英・数・古典は必要に応じて習熟度別授業）				一貫文系コース	
				一貫理系コース	

様々な個性を持つ仲間たちと、共に過ごす6年間。互いを尊重し高めあいつつ、共に育つ6年間でもあります。高校2年次から文系・理系に分かれたカリキュラム選択をしますが、ホームルームは共通です。



中学1年　中学2年

まずは学習習慣の確立から

確かな学力をつけるためには、学習に向かう習慣作りが大切です。入学式後に、学習に関するガイダンスを行い、学院手帳を使って1日の生活を記録し、授業の予習・復習など家庭学習に取り組む時間をしっかりと定着させます。特に定期試験前には学習計画表を作成し、各担任がアドバイスをしながら、自ら学習を進める習慣をつけるよう指導しています。



中学3年　高校1年

キャリア教育を通じて将来を意識

中学3年次で行われる職業体験プログラムやその準備活動などを通して、自分の将来を強く意識させています。また高校1年次で行われるリベラルアーツプログラムでは大学の学びの作法を体験し、自分の進むべき方向をより具体的に考え、現時点での自らの課題にも向き合うことになります。結果として、学習に対する意識も大きく変化していきます。



高校2年　高校3年

進路実現に向かって

学内や大学キャンパスで行われる様々な高大連携授業、進路講演会、卒業生による座談会など、進路を考えるイベントが多数開かれています。そして担任との面談を重ね、進むべき進路を確定させていきます。大学進学を目指した講習は、長期休暇を中心に多数開講されており、学習室やチューターズルームには、連日多くの生徒が訪れ、学習に真剣に向き合っています。

1人1台！タブレットを活用したICT教育を推進

中学高校全クラスにプロジェクタ式電子黒板を設置。Wi-Fi環境も整い、1人1台のタブレットを活用した教育活動も大きく進んでいます。新型コロナウイルス感染症対策で休校が続いた時も、授業動画の配信やリモートでの質問タイム、各クラスの礼拝やホームルームにと、学校と家庭をつなぎ、学習活動を継続していくための心強いツールとなりました。反転学習や家庭学習、プレゼン、グループ活動など、学内外での学びの環境がさらに充実したものとなっています。

「主体性」「協働性」「創造性」を身につける

ICT導入の目的は、授業の学習効率を向上させることだけではありません。ICTが身近な環境を作ることで生徒たちが主体的に情報を取捨選択する力を養い、自己表現を行うためのプレゼンテーションや意思伝達の方法を学び、他者とコミュニケーションをとりながら課題解決することで、未知のものを創り出すことができる力を身につけてほしいと願っています。









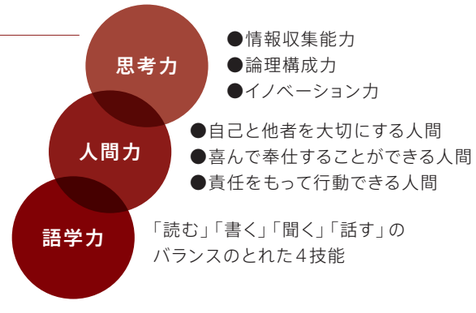
Global education

キリスト教を土台としたグローバル教育

横須賀学院では一貫コースならではのメリットを生かしたグローバル教育を行っています。小学校からの12年間、中学校からの6年間一貫教育の中で、たくさんの体験を通し《世界の隣人と共に生きる》ための学びを深めます。自分が与えられている賜物を磨き育て、その力を他者のために生かせることを喜べる人を大切に育てていきます。

■ グローバル人材に求められる力

自分の意見を持ち、それを伝える力が必要です。国内外での語学研修や体験学習の機会を生かしながら、高いコミュニケーション能力を養い、異なる文化や様々な考えを持つ人々と協働してこれからの社会を担う人になってほしいと願っています。読書力、英会話力、情報活用力などそのために生かせる力を、日々の学びの中でしっかり身につけることが大切です。



●情報収集能力
●論理構成力
●イノベーション力

●自己と他者を大切にする人間
●喜んで奉仕することができる人間
●責任をもって行動できる人間

「読む」「書く」「聞く」「話す」のバランスのとれた４技能

グローバル教育プログラム

一貫コースには、学内・地域・国内外での多彩なグローバル教育プログラムがあります。
★…全員参加型　☆…希望者参加型

スプリング・イングリッシュデイズ ★ 中1・2日間

中学1年生全員を対象に、校内で行う英語漬けの2日間です。イギリス・カナダ・アメリカ・オーストラリアなど、様々な国籍の先生方から、体験型の授業を受けることで、実践的な英語を学びます。

サマー・ウインターイングリッシュデイズ ☆ 各2日間

学内または近隣の施設にて実施する、スプリング・イングリッシュデイズの発展編プログラムです。場面に合ったダイアローグ練習やスキット活動などを行います。中3夏のシドニーホームステイや他の海外プログラムに参加を希望する人たちには、特に積極的な参加を促しています。

インターナショナルスクールでのボランティア ☆ 5日間

葉山インターナショナルスクールで行われるサマースクールに参加する子どもたちと、ネイティブ講師との間に入り、アクティブな活動をサポートします。子どもが好きで、ある程度の英語力のある生徒に最適です。

アジア学院 Work Camp ☆ 2泊3日間

アジア学院は栃木県那須塩原市にある学校で、アジアやアフリカなど、世界の20ヵ国以上の国々から学生が集まり、農業やリーダーシップの研修を行っています。グローバルという言葉の深い部分に触れることができるでしょう。

セブ・インテンシブ・イングリッシュ・キャンプ ☆ 2週間

春休みを利用したフィリピン・セブ島での語学中心のプログラムです。ZA English Academyの寮に宿泊して、1日50分×9コマに及ぶ英語のレッスンを行います。

シドニー・ホームステイ ☆ 中3・15泊16日間

昼は現地の学校に通い、バディと一緒に授業を受けます。教室で学んだ英語を現場で使い、理解しあえたという成功体験を通して、英語学習へのモチベーションの向上や、グローバル社会への関心を深める絶好の機会になります。

ハワイ・プログラム ☆ 中2中3・7泊8日間

オアフ島にある現地大学のドミトリーを利用します。午前中はアメリカ文化の学習や英会話レッスン、午後は屋外でのアクティビティと盛りだくさんな体験型のプログラムです。

交換留学プログラムへの参加 ☆ 高1高2

高校1年の冬出発（主にオセアニア方面）、高校2年の夏出発（主に北米方面）での1年間の交換留学プログラムに参加することができます。試験と面接がありますので、中学1年生から説明会を実施し、準備を促します。



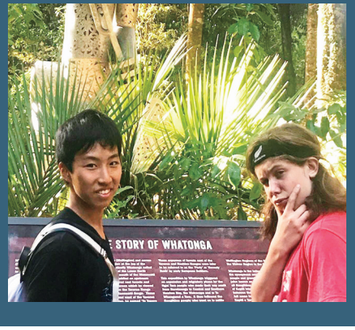




ターム留学 ☆ 中3高1

ニュージーランドは4学期制をとっています。その最初の学期（ターム）は1月から3月まで。中学3年生・高校1年生の3学期、希望者はその学期をまるまる留学することができます。未知の環境の中での多くのチャレンジは確実な成長を促します。









Global education

英語4技能の向上

様々なアプローチを通じて実践的な英語力を獲得

英語を習得するためには集中的に学習することも効果的ですが、継続的に英語に触れることも重要です。本校では中学1年生から英語の授業とは別に、英会話の時間が週1時間設けられています。英会話の授業はネイティブ教員1名と日本人教員1名によるチーム・ティーチングの体制を整えており、タブレットを活用したオンライン英会話も行います。そのため、一人ひとりの英語を話す時間が増え、今まで以上に積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が増えています。



フォニックス授業

スピーキングに対する苦手意識を持たせない

ネイティブの子供たちが初等教育で導入しているものと同様に、毎週1時間、中1の英語の時間にアルファベットを組み合わせた時の発音の仕方を理論的に学びます。初めて見た単語でも、正しい発音が自然にできるようになることを目的としています。

検定試験へのチャレンジ

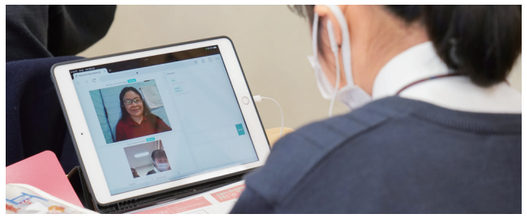
現状の課題を把握して着実にステップアップ

日常の学習がどのくらい身についているかを確認するために、英検やTOEFL Primaryなどの受検を奨励しています。学年目標を早々にクリアし、中2中3での英検準2級、2級の合格者も増えてきました。

オンライン英会話

英語を使う楽しさが、語学力を飛躍的に伸ばす

1人1台のタブレットを利用し、全学年とも週に1回（年間で20回以上）のオンライン英会話の授業を行っています。ネイティブの先生との1対1の会話に最初は少し緊張気味の生徒もいますが、すぐに笑顔になって楽しく取り組めるようになっています。本校のネイティブ教員と日本人の英語科教員2名で、その時間をサポートしています。



国際交流プログラム（中3～高2希望者）

自然な英会話を通して、実用的な英語力を身につける

同世代の高校生との交流プログラムです。毎年来校するマイアミハイスクールの生徒たちとは、授業のバディをしたり、書道や日本語のゲームなどを楽しんだりして交流を深めています。また、青山学院大学国際交流プログラムや、エンパワーメントプログラムに参加し、ディスカッションをしたり、プレゼンテーションスキルを磨く機会もあります。









Global education

体験型プログラム

人・自然・世界と“共に生きる”

中高一貫校の強みを生かし、宿泊を伴う自然教室をはじめとする多くの体験型プログラムを実施することで、生徒たちは本校の教育目標である「共に生きる」体験を積み重ねます。これらの行事を通して生徒たちは集団生活の楽しさや難しさを経験しながら、あるべき人間関係や社会性を学び、豊かな人間性や協調性、自ら考える力などを育てていきます。



小網代の森自然教室（中1）

自然が持つ価値を学び、“共に生きる”ことを実感する

自然と「共に生きる」意味を学び実践するために、NPO法人小網代野外活動調整会議のボランティアの方々を招き学習しています。実際に三浦半島に残る素晴らしい自然環境の小網代の森を散策し、自然が持つ価値や自然と共生する豊かな環境の創造を学んでいます。

沖縄自然教室（中3）

沖縄の戦争体験を学び、平和について深く考える

世界の隣人と“共に生きる”ことを考えた時、戦争と平和の問題は避けて通ることができません。日本で唯一、凄惨な地上戦が繰り広げられた沖縄。ひめゆり部隊についてなどの事前学習を行い、実際に沖縄の戦跡を巡ります。海洋学習や文化体験もあり、沖縄を満喫できるプログラムです。



木更津自然教室（中2）

サステナブルファームで、”持続可能な社会”について学ぶ

中学校では5月の最終週を総合学習週間としています。中学2年生はSDGｓ学習の一環として、木更津にあるクルックフィールズを訪れて環境問題について考え、オーガニック農業体験などの各種体験を行います。この体験を通して持続可能な循環型社会のあり方を学習します。

海外での体験学習（高2）

宿泊体験学習行事の集大成。世界の仲間と“共に生きる”

中学1年生から積み上げてきた「共に生きる」。その集大成として、高校2年生では海外での体験学習を行っています。2020年度からはドイツ・ポーランドに行きホームステイを体験するなど更にプログラムを充実させる予定でしたが、コロナ対応のため現在は代替の国内プログラムとなっています。





Active Learning

思考力・判断力・表現力を身につける

中高一貫コースでは、大学入試改革を念頭において、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高め、知識や技能を活用できる課題解決力を育むことを目標にして、6年間の学びをサポートしています。また、それと同時に、社会に貢献できる豊かな人間力を養うことも視野に入れて、日々の授業や活動を行っています。

▶ クリティカルシンキング	情報を多様な角度から検討し、論理的に理解する力を養うために、国語の授業で最新教材やタブレットを活用した体系的な学習を行っています。また、それと同時に時事的なトピックスにも関心を持つ姿勢を養います。
▶ アクティブラーニング	生徒たちが、仲間とともに考えを深めながら主体的に課題を解決する力を養う授業を目指しています。大学入試改革を見据えて、単に知識量を増やすことに留まらず、問題に取り組む意欲を育てていきます。
▶ 対話的・協働的な学び	本校では、電子黒板やタブレットを活用して生徒同士で意見を交換したり、自分たちの考えをまとめて発表するなど積極的にグループ学習を取り入れています。こうした対話的・協働的学習を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力などの21世紀型スキルを身につけることを目指します。

図書館と司書教諭が連携して様々な取り組みを行っています

授業はもちろん、行事の準備、レポート作成や入試小論文対策など、さまざまな場面で司書教諭が指導に加わっています。そのため、日常の中に司書教諭がいることが当たり前になっており、生徒たちは、進路や勉強、人間関係など何か困りごとがあったら、図書館で解決のヒントを探ろうと考えるほど、図書館が非常に身近な存在になっています。

Newspaper In Education

新聞記事を通しての学び

社会との接点になる身近な情報源として、新聞を様々に活用していく取り組みを進めています。新聞の閲覧やスクラップができる新聞コーナーは、中学棟2か所と高校棟図書館に設置。プレゼンテーションやレポートの資料としても、積極的な活用を推奨しています。



ビブリオバトル

本を通したコミュニケーション

「読んでみたいな」と思わせる本の紹介を競う活気あふれるバトル。予選では、グループ内でお勧めの本を3分間で紹介し合いながらチャンプ本を決めます。決勝プレゼンでクラスチャンプ本に選ばれた本の紹介者は、大チャペルの一面に大きく映し出された本の表紙のもと、全校生徒の前での発表も行います。



入試小論文対策

新書に出会い、意見をもつ

3年生から小論文対策として新書を読み始めます。図書館では、希望進路別のオススメ本コーナーを設置したり、何に興味があるのか、生徒の思いを直接聞きながら、本を紹介したりしています。生徒は新書で得た知識や考えをまとめ、論理的に自分の考えを示す経験を積んでいきます。

英語の多読

無理なく続けられる

図書館では約2,000冊の洋書を所蔵、英語科教員と連携し、すべて学院独自のレベル分けをしています。そのため、生徒自ら読みやすいレベルの本を選び、多読を進めることができます。また、高校生が作成したオススメ洋書のPOPを掲示し、自分にあった洋書を探しやすいよう工夫しています。

読書以外の使い方も大歓迎！ みなさんと共に成長する図書館を目指しています

司書教諭からのメッセージ

みなさんは、図書館でどんなことがやりたいですか？　本校の図書館は読書をするだけの場所ではなく、進路の情報を集めたり、文化祭の準備をしたり、様々な使いかたができるよう工夫しています。みなさんの「やりたい」に応えられるよう、図書館は日々成長を続けていますので、「こんなこと図書館ではできないよね…」と諦めるのではなく、「図書館ならできるかも！」と希望をもって、たくさんの「やりたい」を叶えに来てください。





Support Program

学力の養成

中高一貫コースでは、6年後の進路決定を見据えながら、充実した学力養成プログラムを行っています。中学校では、検定外教科書なども使って、必要に応じて習熟度別授業を行うなど、きめの細かい学習指導をしています。また、授業で基礎を固めたうえで応用的な問題演習を行う講習や、学習室でのeトレを使った学習指導など、確実に実力を培っていくための魅力的なプログラムがあります。またそれと同時に、理解が遅れがちな生徒に対しても放課後に手厚くフォローする体制も整っています。







土曜特別講座

応用発展問題に取り組む上級講座

中学校では、全国の中高一貫生対象のベネッセ学力推移調査を受験しています。この模試の対策授業として、土曜日に年間30回の講座を開講しています。中2中3では、英数の2科目を実施しています。

オンラインによる講座受講が可能

土曜日には、部活動の練習や試合、習い事などが入り講習を受講できないこともあります。また、2021年度はコロナ感染症対応のために登校して受講することが難しい状況となりました。そのため現在はGoogle Classroomを使って授業を配信し、各自のスケジュールに合わせて学習できるかたちで実施しています。



中学夏期講習・補習（中1～中3）

午前中は指名制の補習、午後は応用発展問題を扱う講習

夏期講習は中1から高3まで毎年行われます。中学生については、午前中は普段の学習が遅れがちな生徒の指名制補習となります。午後は、難しい問題にチャレンジする様々な講習が組まれます。

一貫特別講座（高1）

進研総合学力テスト対策として、発展問題に取り組む講座

高1では、一貫特別講座を開講しています。ベネッセの進研総合学力テストで学習到達ゾーンA（難関私大レベル）、S（国公立・早慶上智レベル）評価を目指して応用発展問題に取り組みます。講座は英国数の3教科を平日の放課後に行います。

大学入試対策（高2・高3）

目標・目的に合わせて用意する予備校並みに充実した講座群

いよいよ大学入試に向けた勉強が本格化する高校2年生から、予備校並みに充実した多彩な講座を長期休業中を中心に用意。今まで培ってきた独習力をベースに、実戦的な演習問題に数多く取り組むことで個々の学力を大学入試レベルにまで引き上げます。講座はいずれも希望選択制で無料。どの講座を受講するかは、志望大学や現在の学力レベルを踏まえながら選択することができます。

学習習慣の定着に向けて、毎日の家庭学習を学校内でサポート

中学校では、学習室での支援や放課後の補習など、生徒一人ひとりの学習状況に応じて通常授業以外でも手厚い指導を行い、高校での学習の前提となる土台作りを行っています。



A.L.T. アドバンスト ラーニング タイム

■学習内容を定着させる徹底した反復演習
■学習室専属の管理担当者がフォロー

A.L.T.は学習塾でも使用されている「eトレ」と呼ばれる学習システムを利用して、スモールステップの単元別演習に取り組む自律学習の時間です。A.L.T.の最大の利点は、夜19時の下校時刻まで開放している学習室を利用して行うこと。クラブ活動が終わった後でも間に合います。また、学習室には専属の管理担当者が常駐していますので、学習の進捗状況を管理してもらいながら、わからない課題は質問することができます。

B.L.T. ベーシック ラーニング タイム

■授業担当教員が指導
■理解不足や疑問点の解決を早急にケア

B.L.T.は英数国で毎週放課後に組んでいる補習時間です。小テストで合格点を取れなかった、課題の仕上がりが十分でない、成績がふるわないなどの理由で、授業の中で指名を受けた生徒は参加しなければならないきまりとしています。この補習によって、理解不足や疑問点の解決を引き延ばさないようにしています。



Career Education

キャリア教育

横須賀学院では「何のために学ぶのか」を探求するキャリア教育プログラムを提供しています。中学3年生の「職業体験プログラム」では、働くことの意味を考え、様々な職業について調べ学習を行い、職場体験を行います。高校1年生では、年間10回の土曜講座「リベラルアーツプログラム」を受講することで大学の学びについての理解を深めていきます。

■ 自らの進むべき方向を考える充実した機会

学院セミナリオ

横須賀学院では、大学や様々な学術機関から講師の方々をお招きして、専門的な講義を数多く開講しています。その内容は年々充実しており、幅広い分野にわたって、年間50講座を超える講義が行われています。さらに、大学などの研究機関に実際に赴き、施設見学や研究体験などができるプログラムもあります。中学生は、学内で行われる様々な講義に参加することが可能です。こういった体験が、視野を広げ、進路を明確にする一助となります。目標の明確化は学習意欲に直結するため、生徒たちに積極的な参加を促しています。

■学院セミナリオの一例〈2020年度実施〉

- ●抗酸化作用を調べよう！
  ‥‥横浜薬科大学薬学部　出雲信夫先生、古川恵先生
- ●水族館で問題になる魚の病気について
  ‥‥日本大学生物資源科学部　間野伸宏先生
- ●SDGs時代の教育とユネスコスクール
  ‥‥玉川大学教育学部　小林亮先生
- ●かめはめ波を科学する
  ‥‥東京都市大学工学部 岩尾徹先生
- ●身近な話題から心理学を体験しよう
  ‥‥和洋女子大学人文学部　高梨一彦先生
- ●こんな時どうする？～ケーススタディで学ぶ看護倫理
  ‥‥神奈川県立保健福祉大学　水戸優子先生
- ●支えることを仕事にする
  ‥‥東京大学大学院総合文化研究科　杉本光衣先生

教育連携協定を結んでいる大学

- ●横浜薬科大学
- ●神奈川歯科大学
- ●神奈川大学
- ●東洋英和女学院大学
- ●恵泉女学園大学
- ●関東学院大学

職業体験プログラム（中3）

さまざまな職業に触れ、将来の自分について考える第一歩

一貫教育の真ん中に当たる中学3年生では、学年と国語科、図書館の連携プログラムを通して、職業について考えます。国語科では、1学期のプレゼンテーション試験で「将来の夢」というテーマを設定し、1分間のスピーチを行います。その後、司書教諭と連携し、職業調べ活動を行います。図書館では、職業別に仕事に関する本を用意しており、レポートを作成します。このレポートの内容は、2学期のプレゼンテーション試験のテーマとなります。年末には、ロータリークラブの方から働くことの意義について講演をしていただき、3学期には、30数社の協力を得て、1社2～3人という恵まれた環境で2日間の職場体験を行います。この1年間のプログラムを通して、生徒たちは将来の自分について考え始めます（昨年度はコロナ感染症対策のため、学内に事業所の方を招いてのプログラムとなりました）。

■職業体験プログラムで体験可能な業種〈2019年度実施〉

- ●金融業、保険業（証券・銀行・信金・保険等）
- ●製造業（自動車部品製造・造船等）
- ●医療、福祉（病院・保育園・介護福祉施設等）
- ●教育、学習支援業（幼稚園等）
- ●卸売業、小売業（百貨店・書籍・衣料・石油等）
- ●情報通信業（放送）
- ●運輸業（旅客輸送）
- ●宿泊業、飲食店（飲食・ホテル等）
- ●公務（消防署）

ほか







リベラルアーツプログラム（高1）

授業と研究の違いを体感することで、本当に学びたい学問領域を探る

高校1年生を対象に行う全10回の講座で、土曜の午後や長期休暇などに開講しています。この講座の目的は、自分が大学でどのような分野に取り組みたいのかを探る第一歩を踏み出してもらうことです。図書館の司書教諭から資料調べの方法などのレクチャーを受け、それぞれの専門分野の講師による講義に参加し、時事問題や学問分野についての学びを深め、プレゼンテーションやレポート・小論文作成を学びます。自ら調べ、考え、発表する、という自律的・主体的な学びの姿勢を養います。

■講座の主な内容〈2021年度実施〉

- ●横須賀学院の教育精神についての学び
- ●小論文講座（課題小論文提出）
- ●SDGsについての講座
- ●情報検索方法についての講座
- ●大学での学びに関する講義（レスポンスシート提出）
- ●プレゼンテーション講座（プレゼンテスト実施）



教養講座（高3）

大学レベルの教養を扱う進路決定者を対象とした講座

推薦入試やAO入試で既に進路が決まっている高校3年生を対象に行う特別講座です。文化・歴史、社会・経済・法学、自然科学、語学・国際、スポーツ・健康などにジャンル分けされた講座を、自由に選択して受講することができます。担当の教員が大学や大学院で行ってきた研究の延長線上に行う講座が多く、大学レベルの教養教育を受けることができます。「現代医療と聖書」「自分に活かす心理学」などユニークな講座がそろっています。



Career education

青山学院との連携

教育提携の充実

横須賀学院と青山学院は、同じくキリスト教を土台とした教育理念を持つ学びの場として教育提携を深めてきました。毎年行われる高大連携授業には横須賀学院から多数の生徒が参加し、それぞれの進路選択について考える大切な機会となっています。また、青山学院大学への推薦入学枠は毎年拡充され、中高一貫生が優先的にエントリーできることもあって、中学からの入学生にとって魅力的な進学制度となっています。



高大連携授業（高1～高3）

青山学院大学・全学部の講義を受講
希望進路と学部学科のミスマッチを防ぐ

青山学院大学の全11学部、15講座を青山学院高等部や青山学院横浜英和高校の生徒とともに大学キャンパス（青山キャンパス・相模原キャンパス）で受講します。高校1～ 3年生が対象で、5月から11月の土曜午前に実施しています。教授、准教授の先生方が、各学科で実際に研究している内容を高校生向けにわかりやすく解説してくれます。





■青山学院大学学問入門講座〈2021年度実施〉

- ●経営学部 マーケティング学科「その飲み物、本当においしいですか？ ～マーケティングから考えるおいしさの秘密～」
- ●法学部「結婚は異性とじゃなきゃダメ？」
- ●国際政治経済学部 国際経済学科「グローバル化と現代世界の歴史」
- ●総合文化政策学部「サイテーションとは何か（アカデミック・ライティング入門）」
- ●文学部 英米文学科「現代英国ファッションの魅力」
- ●教育人間科学部 心理学科「〈臨床の知〉とは何だろう」
- ●理工学部 物理・数理学科「重力波天文学の幕開け」
- ●理工学部 経営システム工学科「ゲーム理論入門」
- ●社会情報学部「簡単な数学を使って、複雑な金融商品の価格を求めてみよう」
- ●地球社会共生学部「出版社と日本近代社会：講談社と岩波書店はいかに日本を代表する出版社となったのか？」
- ●コミュニティ人間科学部「なぜ『フェミニズムはみんなのもの』なのか考える」
- ●コミュニティ人間科学部「『スポーツ × 地域活性化』の未来 ～スポーツとまちづくりのいい関係～」

青山学院大学への推薦入学制度　推薦入学枠35名

2009年に調印された教育提携に基づき、横須賀学院高校から青山学院大学への推薦入学枠が設定されています。
この制度は、キリスト教教育を6年間受けた中高一貫生を優先して適用していきます。

学部別推薦入学枠〈2022年度大学入試〉

青山学院大学〈計35名〉	指定校・提携校推薦 23名 キリスト教学校同盟校推薦 12名		
経済学部	2名	文学部	5名
経営学部	4名	教育人間科学部	2名
国際政治経済学部	2名	社会情報学部	2名
法学部	2名	理工学部	4名
総合文化政策学部	2名	地球社会共生学部	4名
コミュニティ人間科学部	6名		

推薦条件

青山学院大学への推薦条件には、青山学院大学側が提示する推薦基準と横須賀学院高等学校側の内部推薦条件の2種類があります。大学が提示する推薦基準の主なものとして、「高校在学中の評定値平均が5段階中4.0以上」があります。横須賀学院側の条件には、「学校の成績と同程度に模試の成績も重視する」「卒業時までに英検2級以上取得」「高大連携教育への参加」などがあります。

Career education

学習指導・進路指導プログラム

中高6年間の一貫した手厚いサポート

横須賀学院の中高一貫コースでは、大学入学共通テストなどの入試改革や社会の変化をふまえて、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高めて知識や技能を活用できる課題解決力を育みます。また、6年間の教科学習によって、進路希望を叶えるための実力をつけられるよう、様々なプログラムを通して生徒一人ひとりを手厚くサポートしています。

中学1年～中学3年

学力推移調査（全国の私立中一貫生が受験）を実施し、「学力到達ゾーン」で大学の合格可能性を確認しながら、高校卒業後の進路を見据えて日々の学習に取り組みます。

高校1年

スタディサポートを活用して、二者・三者面談を実施し、一人ひとりに向き合いながら、生活・学習両面について、丁寧に指導していきます。そのうえで、文系・理系のコース選択を、自分のやりたいことや適性を考えながら決定していきます。
【進路ガイダンス】 ●年間指導計画と3年間の見通し ●学習・生活の基本

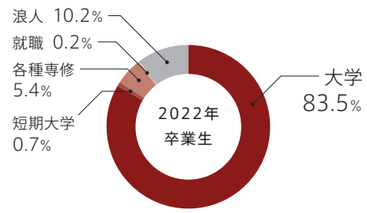
高校2年

文・理コースに分かれ、進路ガイダンスやオープンキャンパス参加などを通じて、自分の将来をイメージしながら、目標とする進学先を検討します。同時に、受験科目を意識して実力を養成し、受験に向けての学習態勢を整えます。
【進路ガイダンス】 ●大学入試の仕組み ●受験に向けての組み立て

高校3年

受験までの綿密な学習計画を立て、受験科目の実力を合格可能なレベルまで高めます。志望校を決定し、自分に合った入試に向けてのプランを、三者面談を通して確定していきます。入試方法が決定したら、万全の態勢で受験に臨めるようサポートしていきます。
【進路ガイダンス】 ●推薦・一般受験 ●共通テスト利用

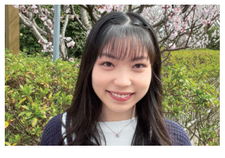
卒業生の進路状況



2021年度大学入試 合格実績一覧

国公立大学			
筑波大学	1名	富山大学	1名
東京藝術大学	1名	長崎大学	1名
静岡大学	2名	横浜市立大学	2名
山梨大学	1名	神奈川県立保健福祉大学	3名
信州大学	1名	神戸市外国語大学	1名
新潟大学	1名	その他国公立大学	7名
私立大学			
早稲田大学	7名	駒澤大学	14名
慶応義塾大学	1名	専修大学	22名
上智大学	5名	関西学院大学	2名
東京理科大学	2名	同志社大学	4名
明治大学	27名	津田塾大学	1名
青山学院大学	37名	東京女子大学	6名
立教大学	6名	日本女子大学	2名
中央大学	22名	東洋英和女学院大学	5名
法政大学	39名	昭和薬科大学	8名
学習院大学	7名	東京都市大学	17名
成蹊大学	14名	芝浦工業大学	5名
成城大学	4名	東京農業大学	7名
明治学院大学	24名	北里大学	7名
國學院大学	16名	神奈川大学	78名
武蔵大学	3名	東海大学	49名
日本大学	64名	関東学院大学	32名
東洋大学	27名	他多数	

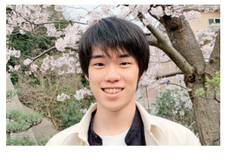
卒業生より　和氣璃奈



青山学院大学
コミュニティ人間科学部
コミュニティ人間科学科

“All is well” きっと、上手くいく!! が、私のモットー。希望の大学に進学するという高い目標を持って、何事にもチャレンジできたのは横須賀学院で学んだおかげです。
私は中高6年間、最もハードと言われる陸上競技部に所属していました。横須賀学院はスポーツにも力を入れており、土日の大会を考慮し、私たち生徒の後押しをしてくれるので、全力投球できます。それでも、勉学との両立が難しく、何度もくじけそうになりましたが、先生方が気にかけてくれ、自分らしく向き合う事ができました。
また、中高一貫校だからこそ友人との距離が近く、相手を思いやる感謝の気持ちを養うことができました。人が私を突き動かす原動力になっていることを実感し、人との繋がりであるコミュニティに興味を持ちました。この経験を生かし、更に成長していきたいです。

卒業生より　角坂侑紀



横浜市立大学
理学部
理学科

横須賀学院での6年間は実りのあるものです。入学後の早い段階で先生方がカリキュラムを用いて丁寧に説明してくださるので、自分が中高生活の中心に何をおきたいのかを明確にすることが出来ます。人によって目標は様々ですが、横須賀学院には身に付けておきたい様々なプログラムや制度が充実しています。
私は中学でバドミントン部、高校では聖歌隊に所属していました。私は6年間を通して学習を中心においていたのですが、学習と部活動を両立出来る環境があったことはありがたかったです。先生方は私達を信じてくれます。その安心感の中で中高6年間過ごせるのはとても貴重なことだと思います。友人とはお互いに認め合える仲間となり、はじめは意見が違っていても、話し合ううちに素直に聞けるようになるので自分自身の幅も広がっていったと思います。学院で培ったものをこれからさらに豊かなものにし、社会貢献出来る人になれるよう努力していきたいと思っています。





▶ 登校｜～8：20

小学校よりも通学に時間がかかるので、みんな余裕をもって登校するようにしています。今日はどんな一日になるかな？

▶ 礼拝｜8：30 ～ 8：45

横須賀学院の一日は礼拝をもって始まります。朝のひととき、新たな気持ちで神様の言葉に耳を傾けましょう。

★2020年10月にカフェテリアがオープン！

横須賀学院70周年記念事業の一環として、2020年秋に《学院カフェテリア》がオープンしました。
生徒が集い、憩い、安らぐ新たなエリアの誕生です。《学院カフェテリア》は朝から終日開放しており、生徒が自由に学習したり、談話したりするスペースとして大変好評です。







▶ 昼食・休憩｜11：40 ～ 12：20

みんなで楽しく昼食をいただきます。昼休みは教室でお喋りをする人もいればグランドに行ってサッカーやバスケに熱中する人もいます。

SCHOOL LIFE

【学校生活】

登校時間は8時20分。朝の礼拝から一日が始まります。授業は午前3時間、午後3時間で、中3は週に2回、7時間授業があります。部活動の終了時間は、夏期17時30分、冬期17時になっていますが、学習室は完全下校時刻の19時まで開放しているため、部活動終了後に自主学習に励む生徒が多く見られます。





▶ 午前の授業｜8：50 ～ 11：40（1～3時間目）

午前中は3時間授業があります。ばっちり予習もしてきたし、集中して頑張るぞ！





▶ 午後の授業｜12：25 ～ 15：15（4～6時間目） ※15：25～16：15（7時間目）

後半戦の始まりです。中学では移動教室も多いので、早めに準備して遅刻しないようにします。



▶ 放課後｜15：30 ～

（夏期部活動終了時間 ～17：30）
（冬期部活動終了時間 ～17：00）





▶ 学習室の利用｜～19：00

専属のスタッフがいつも待機しているので、授業で分からなかったところは気軽に質問できます。さらに深い学びをしたい人にもおススメの場所です。

SCHOOL UNIFORM

【制服】



ポロシャツ



女子夏服　男子夏服　女子冬服　男子冬服

SCHOOL EVENTS

【学校行事】

チームやクラスの団結力を強める体育祭や合唱コンクール。自分たちが楽しむだけではなく、来場者が楽しめるように工夫を凝らす文化祭。キリスト教学校ならではの荘厳なセレモニーなど、横須賀学院には数々の楽しい学校行事があります。みんなで励ましあい、支えあう経験からは、かけがえのない絆と思い出が生まれ、学校生活に豊かな彩りを与えてくれます。









▶ 体育祭　3年生のリードのもと、3色縦割で競います。先輩・後輩の絆も深まります。





▶ マラソン大会

金沢八景にある海の公園で実施します。友だちと励まし合いながら、それぞれの目標達成目指して走ります。

4月	新入生オリエンテーション（中1：入学式前） 全校縦割り遠足
5月	自然教室（中2：木更津 2泊3日／中3：沖縄 3泊4日） 総合学習週間 （中1：イングリッシュデイズ、小網代の森）
6月	キリスト教教育週間 花の日礼拝 体育祭
7月	夏期講習 サマー・イングリッシュデイズ（2日間）
8月	シドニーホームステイ（2週間） 夏期講習
9月	楠木祭（文化祭）
10月	芸術鑑賞（劇団四季）
11月	収穫感謝礼拝 合唱コンクール クリスマスツリー点灯式
12月	クリスマス特別礼拝 ページェント メサイア
1月	職業体験 裁判傍聴（中3） ウィンター・イングリッシュデイズ（2日間）
2月	マラソン大会（海の公園）





▶ 合唱コンクール

中学校の合唱コンクールは、クラス対抗で行います。どのクラスも優勝を狙い、毎年熱いドラマが繰り広げられます。







▶ 楠木祭（文化祭）

小中高オール横須賀学院で行う楠木祭。中学では、自然教室や総合学習の発表・展示を行うほか、文化系クラブの展示、演奏会などを行います。

▶ 全校縦割り遠足

一貫コースの教育目標は「共に生きる」。特に学年の枠を超えてお互いに協力しあい、行事を運営することに力を入れています。そのために、入学してすぐに異学年混合のグループで遠足に行き、班対抗のオリエンテーリングを行います。





CLUB ACTIVITIES

【 部 活 動 】

横須賀学院の部活動は、仲間や先輩・後輩と共に、豊かな人間関係を築きながら、技術や体力の向上、規範意識や社会性、自主性を高めることを目標に行っています。楽しさや喜び、ときには悔しさを他者と分かち合う中で、学校生活をより充実したものにしています。

【 生 徒 会 ・ 委 員 会 活 動 】

●生徒会執行部　●学級委員会　●美化委員会　●風紀委員会
●放送委員会　●図書委員会　●チャペル委員会



▶陸上競技部

練習は週5（月・火・木・金・土）で行っており、シーズン中（4～ 10月）は土・日に大会が開催されることがあります。競技以上に、人として大事なことを学べるような部活を目指して、日々努力しています。昨年は、2名が県大会で入賞し（女子走幅跳、女子四種競技）、関東大会やジュニアオリンピックに出場しました。



▶バスケットボール部

『徹底』『感謝』『信頼』をモットーに男女一緒に活動を行っています。部員のほとんどが初心者ですが、基礎から練習に取り組み、厳しい練習も「仲間がいるから」乗り越えていけます。バスケ未経験の人でもヤル気があれば大歓迎です。最高の仲間と出会い、充実した中学校生活を共に送りましょう。



▶ソフトテニス部

月、金はトレーニング日、水金土はコートで練習をしています。今年こそ久しぶりの地区予選突破、県大会出場を目指しています。最も人数の多いクラブですが、先輩後輩の仲も良く、楽しく目標を持って頑張っています。



▶男子バドミントン部

昨年度は、中総体団体戦で3位。市民大会のダブルスで準優勝ペアと3位のペアを輩出しました。今年度は団体戦での決勝進出と県大会出場を目標としています。



▶男子サッカー部

サッカー選手である以前に一人の人であることを指導しています。『on the pitch』（グラウンド）でいくらよいプレーをしても、『off the pitch』（日常生活）での態度がよくなくては、一人の人間として自律できていません。サッカー部では、そのために、日常生活での挨拶や服装、学習態度などの生活態度全般の指導にも力を入れながら、技術の指導を行っています。



▶ハンドベル・クワイア

美しいハーモニーを目指して、中高一貫の高校生も交えて週3回大チャペルで練習をしています。礼拝やファミリークリスマス、また校外での演奏奉仕が主な活動です。クリスマスの時期には様々な演奏機会があります。



▶家庭科部

週2回、高校棟1階の被服室で活動しています。ポーチやぬいぐるみ、刺繍など、みんなで楽しく作品作りに取り組んでいます。おそろいのエプロンを作って、学院サブレやローストチキンなどのクッキングも行います。



▶イングリッシュクラブ

昨年度は週に1回活動していました。英語を使うゲームや映画鑑賞などを行いました。今年度は外国人の先生も加わり、英語に触れられる機会がもっと増えました。英語に興味がある生徒大募集です！！



▶理科学部

例年はさまざまな化学実験にくわえて、ペットボトルロケットの製作や、火薬を使うモデルロケットの打ち上げなどを行っています。コロナ禍で学外での活動は行いにくい状況ですが、今年度はロボットプログラミングに挑戦します。iPadでプログラムして、走行、発光、描画、演奏を行わせます。



▶写真部

皆さん、こんにちは写真部です。デジタルカメラを用意できる人なら誰でも入部できます。毎週月曜日と木曜日に活動しています。集合場所は1号館（高校）2F北棟物理教室の準備室です。近隣の公園や町に出て風景や動物、建物、鉄道など興味のあるものを何でも撮影して、9月の文化祭で写真展を開催し発表しています。写真に興味のある人、男女を募集します。



▶美術部

皆さん、こんにちは！美術部です。絵を描くことが好きですか？でしたら、美術部はあなたにピッタリと思います！気軽にイラストなどを描く部活なんです！もちろん上手下手関係なくて、だれでも興味がある人はウエルカム！更に立派な画材がたくさん揃って、なんと部費が0です！今年はデジタルイラストにも力をいれていきます。



▶吹奏楽部

吹奏楽部は中学生と高校生あわせて現在50名で活動しています。「あたたかな音楽」を合言葉として、先輩と後輩で練習しあうペア練習や合奏練習などに取り組んでいます。また、部内レクや誕生日会などにも取組みながら、部員間の親睦を深めています。

SCHOOL FACILITIES

【施設・環境】

キャンパスは記念艦「三笠」のある三笠公園に隣接しており、教室の窓からは間近に東京湾・房総半島を望むことができます。広大な2つのグラウンド、荘厳なチャペル、4階建ての体育館。陽の光、爽やかな風に包まれて充実した学校生活を送ることができます。




▶中学棟（3号館）


▶中学校学習室


▶高校棟（1号館）


▶図書館


▶進路指導室


▶高校学習室


▶高校チューターズルーム


▶大チャペル　※パイプオルガンを設置中


▶小チャペル


▶チャペル棟


▶Aグラウンド


▶Bグラウンド


▶テニスコート


▶体育館


▶アリーナ

History
学校沿革

1950 創立70周年
1953 二瓶浄幸、第七代院長に就任
1960 横須賀学院の「ミッションステートメント」制定
横須賀学院（小学・中学・高等学校）いじめ防止基本方針施行
1961 オーストラリア・マイアミ州立高校生28名来訪。
横須賀学院・マイアミ州立高校　友好親善協定調印
1964 学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印
仲井宣雄、小学校校長に就任
青山学院との教育提携強化、提携校推薦入学枠を新設
1965 学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印
保々和宏、第五代理事長に就任
オーストラリア・マイアミ州立高校生34名来訪、「ブリッジング・ワールド・トゥゲザー」
1968 新年教職員始業礼拝で青山学院山北宣久院長が説教
井苅尭子、第六代院長に就任
1969 創立60周年記念事業　チャペル棟落成
60周年記念式典
1970 学校法人青山学院と学校法人横須賀学院の「教育提携協定」締結
体育館奥に特別棟（小学校教室、営繕室、同窓会室）竣工
中学・高等学校3学期制へ回帰。高校1年次のみ土曜授業復活。
1972 中学と高等学校に副校長制導入。中学校　マルタ共和国での語学研修
1978 第2視聴覚室、第2音楽室大改修
1979 1号館1階にカウンセリングルーム設置
3号館（中学棟）定礎式。4月から中学生の中学等での生活が始まる。
1980 小見山茂樹、事務長に就任
1981 マリアットビル高校来訪、学院オーストラリアウィーク開催
1982 小学校・中学校・高等学校で二期制実施
本館外壁塗装工事
1985 高等学校1年生から新カリキュラム・3類型での学習始まる。
総合学習・学校設定科目等の特色　塩田征雄、小学校校長に就任
1989 高等学校　オーストラリアで第1回国際交流プログラム
1992 選抜クラス設置　食堂外部業者へ委託「くすの木」開店
1994 國岡昭夫、第四代理事長に就任
1996 藤野利夫、中学・高等学校長に就任
1997 1号館北棟にPC教室・MM教室完成
1998 創立50周年記念事業として　□吹奏楽部定期演奏会
□ビッグアート「人文字」　□記念式典、感謝会、記念誌発行等を実施
1999 中学校、第1回海外語学研修（イギリス・オックスフォード）を実施
2000 小学校特別教室棟落成
2001 1号館空調設備完成
2002 津田一路、第五代院長に就任
2003 週五日制完全実施及び制服改定
井苅尭子、小学校校長に就任
2004 菊地敏弘、中学・高等学校長に就任
2005 那須黒磯に校外施設「星望山荘」開設
2006 創立40周年記念行事として徳永兼一郎チェロリサイタル、
杉山清貴コンサート、山下泰裕講演会等を開催
2007 小学校校舎落成
2008 チャペル改修
2009 阿部志郎理事、理事長に、斎藤忍中・高校長、第四代院長に就任
2010 体育館落成
2011 斎藤忍高等学校長、中学校長兼務
2012 紀要「いなほ」創刊号発行
2013 旧校舎4棟を全面改修し、2号館とする
創立30周年記念行事として講演会「中野好夫氏」を開催
「横須賀学院の教育」出版
2014 旧校舎跡地を中・高グランドとして完成
2018 中学校・高等学校校舎落成
2020 斎藤忍、高等学校長に就任
松尾理事長のまま、第三代院長に就任
礼拝堂の改築及びグランドの大改修
旧体育館の増改築工事完了
小学校スクールバス購入
生徒食堂開設
クリスマス音楽会「メサイア」
横須賀市文化会館にて初めて一般公開
旧高校校舎増築及び旧第一校舎改装
小坂富城、第二代院長に就任
松尾造酒蔵、第二代理事長に就任
旧木造体育館改修
青山学院第二高等部を引き継ぎ、横須賀学院中学校・高等学校開校
初代理事長小崎道雄、初代院長・校長武部啓

生徒在籍数（2022年5月現在）

	横須賀学院中学校			横須賀学院高等学校（一貫生）		
	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
男子	66名	73名	59名	51名	48名	44名
女子	43名	53名	51名	39名	24名	27名
合計	109名	126名	110名	90名	72名	71名
クラス数	3	4	3	3	2	2

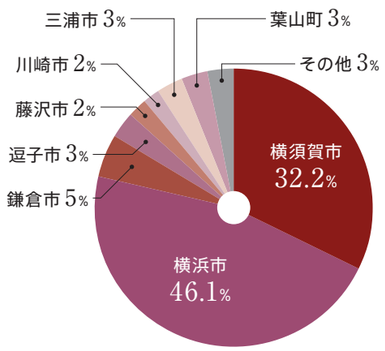


	横須賀学院高等学校（高入生）		
	1年生	2年生	3年生
男子	230名	228名	247名
女子	268名	281名	317名
合計	498名	509名	564名
クラス数	12	13	16

併設小学校からの進学者数

	2022	2021	2020	2019	2018	2017
男子	15名	11名	9名	14名	14名	20名
女子	8名	9名	20名	13名	17名	18名
合計	23名	20名	29名	27名	31名	38名

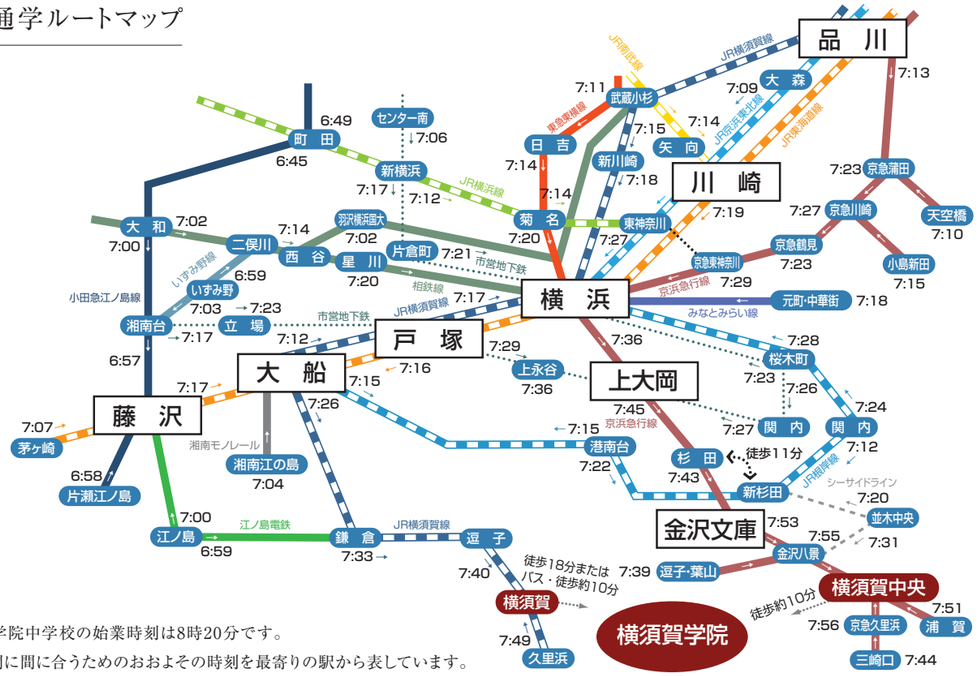
在校生の居住地域（2022年5月現在）







通学ルートマップ



横須賀学院中学校の始業時刻は8時20分です。
この時間に間に合うためのおおよその時刻を最寄りの駅から表しています。
※2022年6月現在